

問い合わせ先

国土交通省：03-5253-8111

海事局 安全・環境政策課 池田(43-553)

伊藤(43-523)

平成 21 年 3 月 26 日

国土交通省

第 3 回「マリンイノベーション検討会」開催結果について

1．日時

平成 21 年 3 月 25 日(水) 10:00～12:00

2．場所

国土交通省中央合同庁舎 3 号館 11 階特別会議室

3．議事

- (1) 国際海運からの CO2 対策について (MEPC59 への対応)
- (2) CO2 排出削減に関する技術開発事業について
- (3) 船舶の NOx・SOx 対策について

4．委員名簿

別紙のとおり。(石橋委員は欠席)

5．議事概要

(1) 国際海運からの CO2 対策について

国際海事機関(IMO)第 59 回海洋環境保護委員会(MEPC59)への対応の基本的な方針(新造船対策、既存船対策、個船の効率向上を促進する経済的手法、国際海運における CO2 排出削減効果の推定等)について、審議が行われた結果、了承された。

各委員からの意見概要は、次のとおり。

- ・IMO での検討を進めるにあたって、まず、全体の大きな枠組みを審議することが重要。その後、制度の細部を詰めるアプローチを取るべき。
- ・国際海運分野での排出削減量の目標値については、努力目標でも良いので、宣言していくことが重要ではないか。

(2) CO2 排出削減に関する技術開発事業について

来年度から開始する省エネルギー技術開発の促進事業について報告を行った。

各委員からの意見概要は、次のとおり。

- ・開発費について、更なる開発資金を獲得して頂きたい。

(3) 船舶の NOx・SOx 対策について

第 13 回ばら積み液体・気体小委員会(BLG13)の結果を受けた今後の対応(NOx3 次規制施行に向けた作業部会の設置等)及び環境エンジン開発事業に関する進捗状況及び今後の実施計画について、審議がなされた結果、了承された。

各委員からの意見概要は、次のとおり。

- ・NOx3 次規制対応のための機関室に関する試設計等については、関係業界とも連携しながら、相応の資金を投入して、十分検討する必要がある。

以上

「マリンイノベーション検討会」委員名簿

氏名	所属・役職
大和裕幸	東京大学システム創成学科 教授
高崎講二	九州大学総合理工学研究院 教授
太田和博	専修大学商学部 教授
堤則夫	(社)日本船主協会 海上安全・環境委員会副委員長 (川崎汽船株)
谷口友一	(社)日本造船工業会 企画委員長 (株)川崎造船)
石橋徳憲	(社)日本船用工業会 政策委員長 (ダイハツディーゼル株)
北田博重	(財)日本海事協会 副会長
津田尚輝	(財)日本船舶技術研究協会 理事長
井上四郎	(独)海上技術安全研究所 理事長
染矢隆一	国土交通省大臣官房技術審議官